

ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2023年2月)

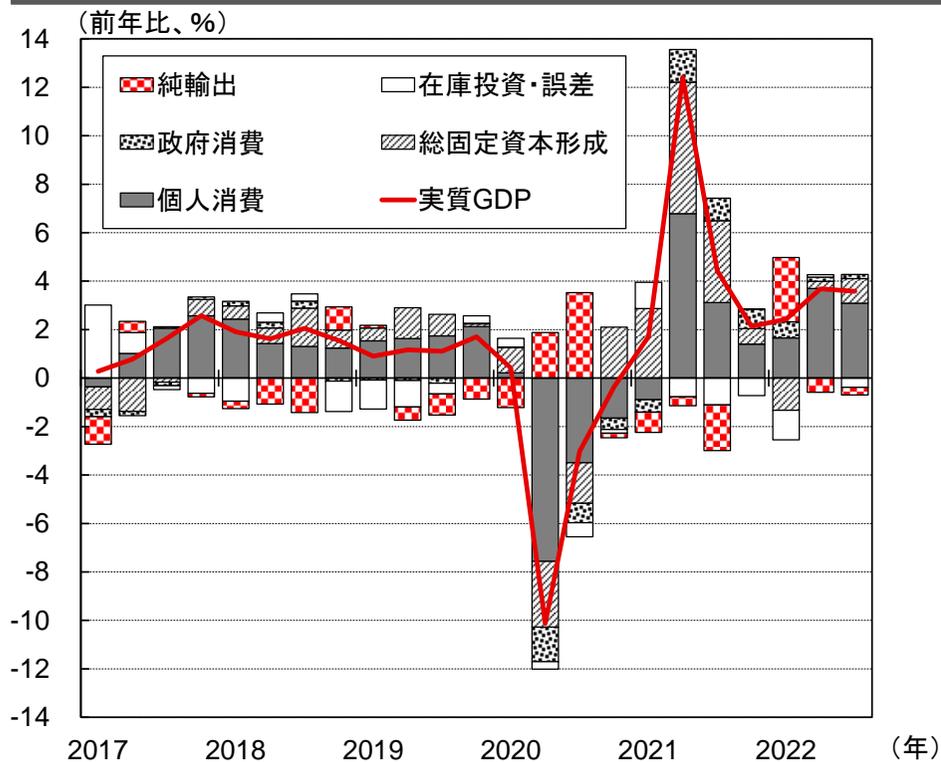
2023年2月3日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. ブラジル (1) 景気概況

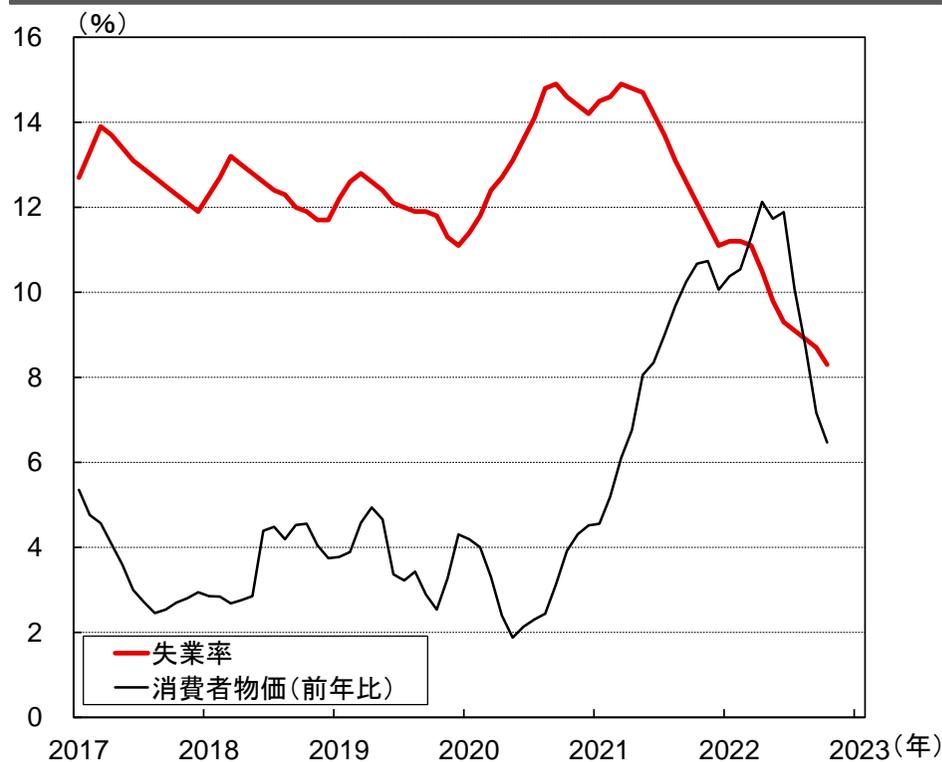
- 昨年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+3.6%と景気回復が継続。需要項目別の寄与度では、純輸出は同▲0.3%ポイントとなったものの、個人消費(同+3.1%ポイント)、総固定資本形成(同+1.0%ポイント)、政府消費(同+0.2%ポイント)がプラス寄与。
- 10月の失業率は8.3%と、およそ7年ぶりの水準へ低下。
- 10月の消費者物価は前年比+6.5%と上昇が鈍化。大統領選前の商品流通サービス税の引き下げや原油価格下落が影響。
- 10月の大統領選挙は、決選投票の末、左派のルラ氏が当選。2023年1月より大統領に就任。左派政権は約6年半ぶり。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

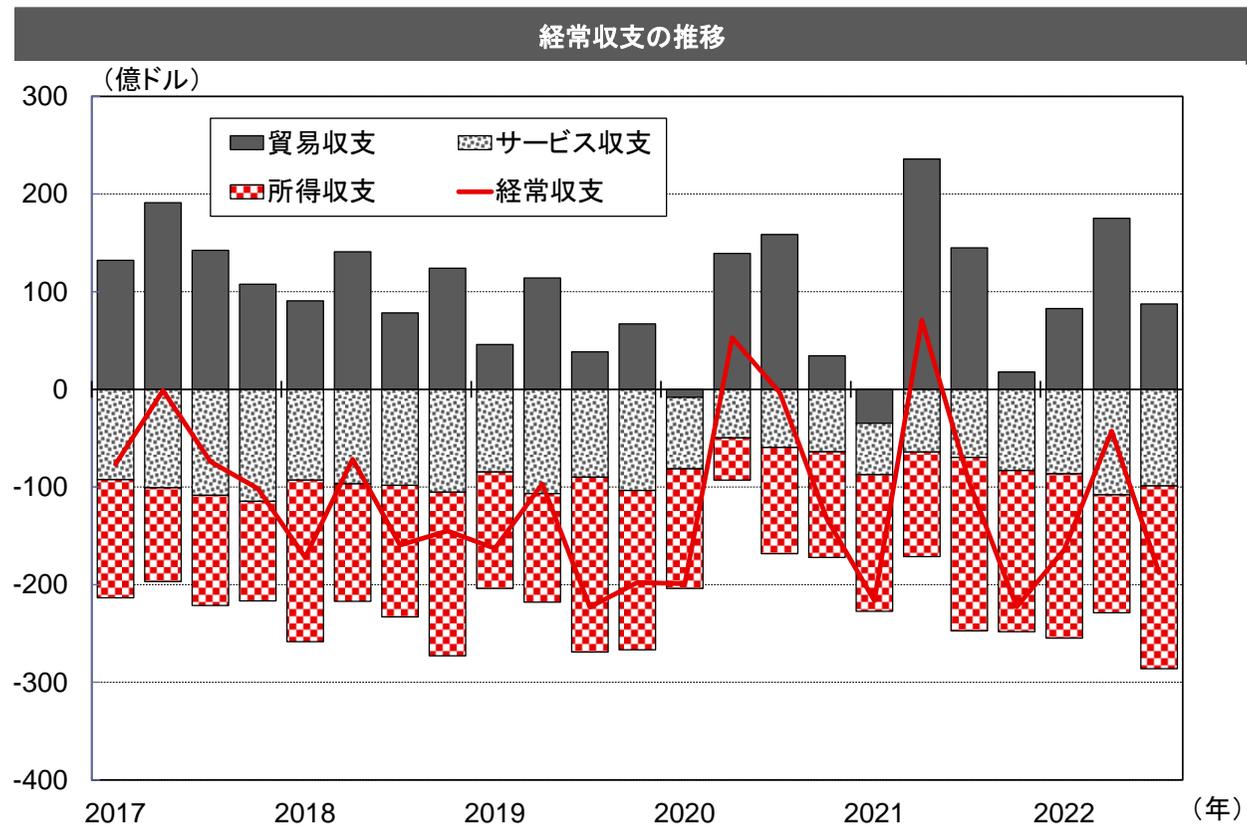
失業率と消費者物価上昇率の推移



(注)『失業率』は未季節調整値。
(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (2) 経常収支

- 昨年7-9月期の経常収支は▲188億ドルと、前年同期の▲95億ドルから赤字幅が拡大。
- 内訳をみると、貿易収支が87億ドル(前年同期比▲57億ドル)と黒字を維持したものの、輸入増の影響で黒字幅は縮小。所得収支は▲187億ドル(同▲9億ドル)、サービス収支は▲99億ドル(同▲29億ドル)と赤字幅が拡大。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (3) 金融市場

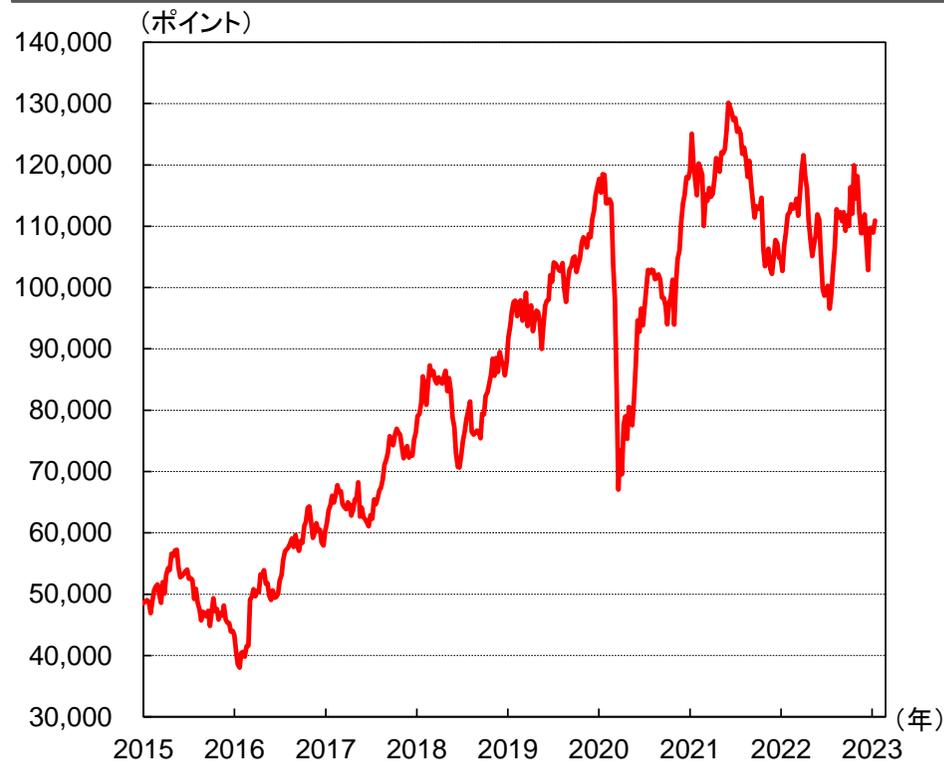
- ブラジルレアルの対ドル相場は、昨年10月の大統領選挙を前に5.4レアルまで下落。足元は5.0~5.3レアルのレンジで推移。
- ブラジル中銀は、昨年8月の金融政策会合で0.5%ポイントの利上げを実施、その後は政策金利を13.75%で据え置き。
- 株価(ボブスパ指数)は、110,000ポイントを挟んでボラティリティの高い状況が継続。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボブスパ指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル (4) 経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2019	2020	2021	21/10-12	22/1-3	4-6	7-9	22/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(1.2)	(▲3.3)	(5.0)	(2.1)	(2.4)	(3.7)	(3.6)				
経済活動指数○	138.41	132.98	139.15	140.15	141.87	142.74	145.12	146.22	144.57	144.57	144.50
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲1.1)	(▲4.7)	(4.2)	(0.2)	(0.5)	(0.8)	(▲0.3)	(0.5)	(▲0.6)	(▲0.7)	(0.3)
設備稼働率○	(77.4)	(76.8)	(81.0)	(81.1)	(80.9)	(80.7)	(80.4)	(80.5)	(80.4)	(80.4)	(80.4)
小売売上高(前年比、%)	(1.9)	(1.1)	(2.2)	(▲4.6)	(1.6)	(1.4)	(▲0.2)	(▲5.3)	(1.6)	(3.2)	(2.7)
自動車国内販売台数(千台)	2,788	2,058	2,120	542	406	512	585	182	209	194	181
失業率(%)	(12.1)	(13.5)	(13.5)	(11.6)	(11.2)	(9.9)	(8.9)	(9.1)	(8.9)	(8.7)	(8.3)
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(3.7)	(3.2)	(8.3)	(10.5)	(10.7)	(11.9)	(8.7)	(10.1)	(8.7)	(7.2)	(6.5)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(7.3)	(16.2)	(37.0)	(22.3)	(18.0)	(12.5)	(9.1)	(10.1)	(8.7)	(8.6)	(6.5)
輸出(FOB)(億ドル)	2,211	2,092	2,808	682	734	923	916	302	312	303	276
(前年比、%)	(▲4.6)	(▲5.4)	(34.2)	(26.6)	(30.7)	(12.8)	(17.8)	(17.2)	(13.7)	(23.1)	(21.0)
輸入(FOB)(億ドル)	1,859	1,588	2,194	665	651	748	829	260	286	282	255
(前年比、%)	(0.3)	(▲14.6)	(38.2)	(31.6)	(9.2)	(28.4)	(31.0)	(33.7)	(31.6)	(28.0)	(18.8)
貿易収支(億ドル)	352	504	614	18	83	175	87	41	25	21	21
経常収支(億ドル)	▲680	▲282	▲464	▲223	▲164	▲43	▲188	▲52	▲64	▲71	▲51
直接投資ネット流入(億ドル)	692	378	464	32	228	203	254	73	89	92	55
外貨準備高(億ドル)◎	3,393	3,320	3,094	3,094	3,061	3,111	2,800	3,064	2,957	2,800	2,744
ベースマネー(億リアル)◎	3,166	4,315	4,092	4,092	3,859	4,072	3,934	3,896	3,954	3,934	3,986
政策金利(Seric Target rate)◎	(4.50)	(2.00)	(9.25)	(9.25)	(11.75)	(13.25)	(13.75)	(13.25)	(13.75)	(13.75)	(13.75)
対米ドル為替相場◎	4.023	5.194	5.570	5.570	4.752	5.229	5.409	5.198	5.181	5.409	5.247
株価指数(ボベスパ指数)◎	115,645	119,017	104,822	104,822	120,010	98,542	110,037	103,165	109,523	110,037	116,037

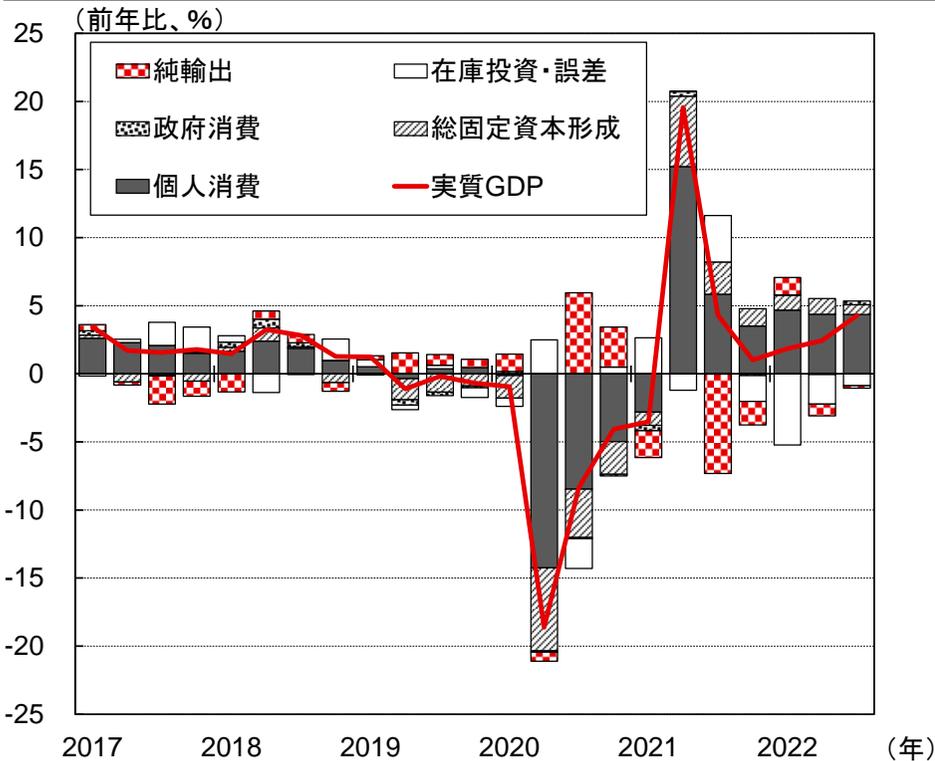
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (1) 景気概況

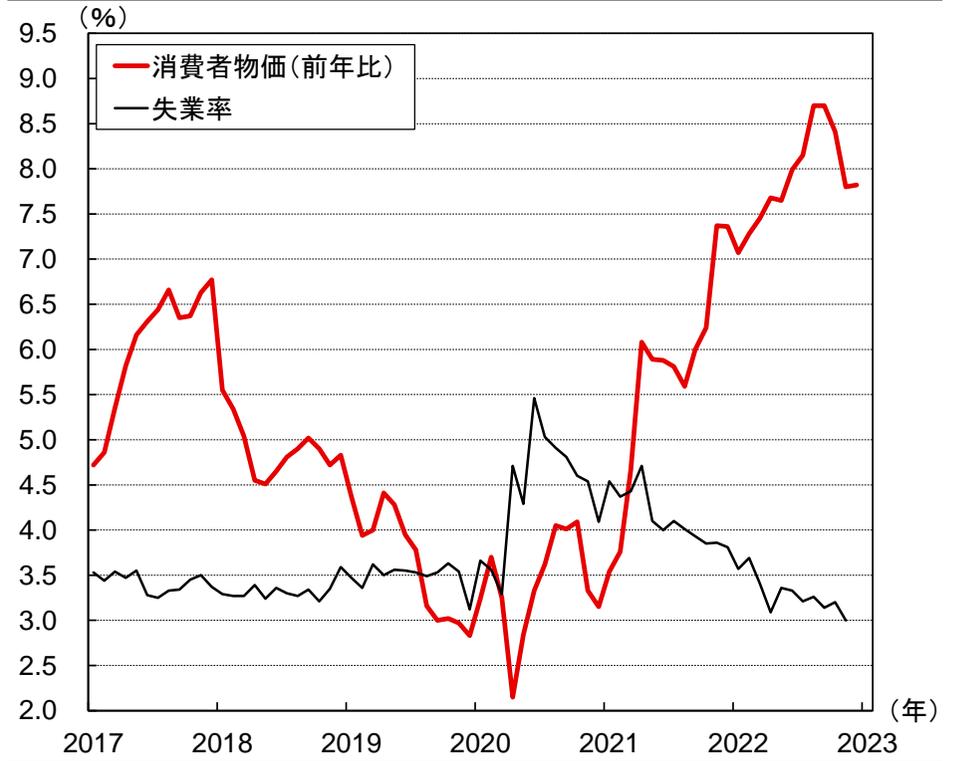
- 昨年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+4.3%と伸びが加速。需要項目別の寄与度をみると、個人消費が+4.4%ポイントと堅調に推移したほか、在庫投資・誤差(同▲0.9%ポイント)と純輸出(同▲0.2%ポイント)のマイナス幅が縮小。
- 失業率は11月に3.0%と、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準で推移。
- 消費者物価上昇率は、9月の前年比+8.7%をピークに低下に転じたが、11月も同+7.8%と、メキシコ銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)の上限を大きく超過。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

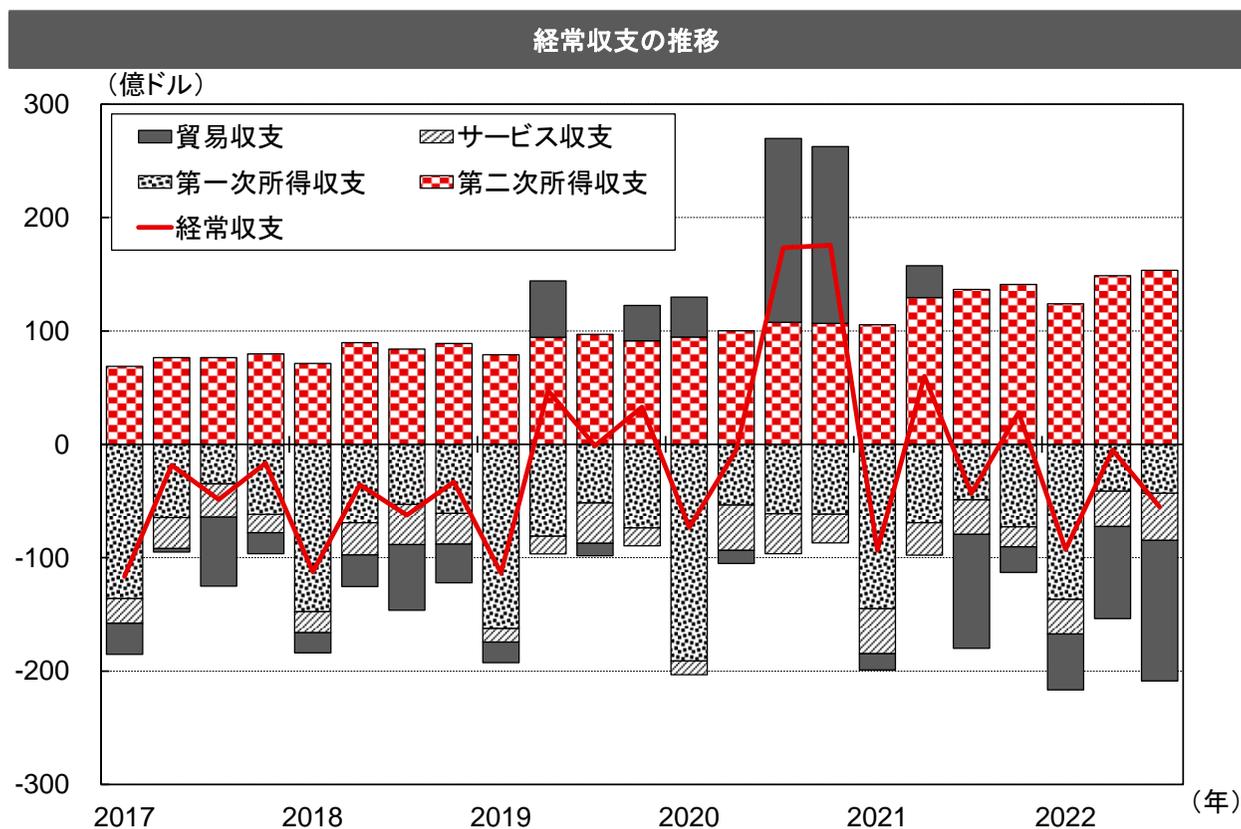
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (2) 経常収支

- 昨年7-9月期の経常収支は▲55億ドルと、前年同期の▲43億ドルから赤字幅が小幅拡大。
- 内訳をみると、第二次所得収支は在米メキシコ人からの国内送金により、154億ドル(前年同期比+17億ドル)と黒字幅が拡大したものの、貿易収支が輸入増加の影響で▲124億ドル(同▲24億ドル)、サービス収支が▲42億ドル(同▲11億)と赤字幅が拡大。



(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (3) 金融市場

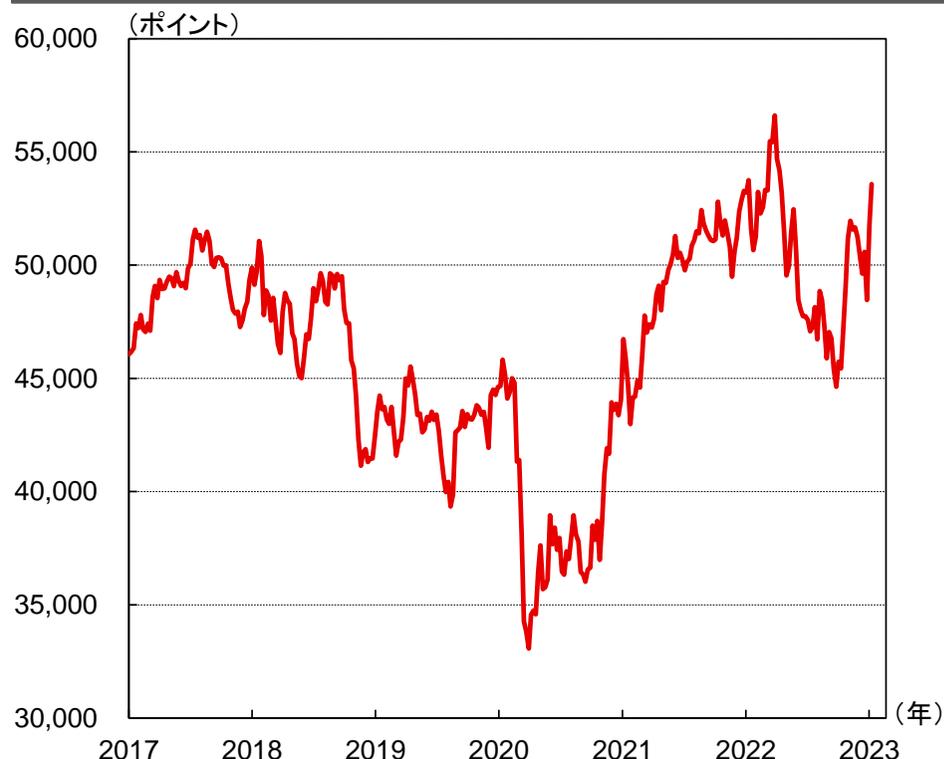
- メキシコペソの対ドル相場は小幅上昇し、19ペソ近辺で推移。メキシコ銀行は昨年12月に政策金利を0.5%ポイント引き上げ10.5%とした。
- 株価(ボルサ指数)は、FRBの利上げペースが減速するとの見方や、中国のゼロコロナ政策緩和に伴う世界経済の回復期待等を背景に、振れを伴いながらも上昇基調。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (4) 経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2019	2020	2021	21/10-12	22/1-3	4-6	7-9	22/8	9	10	11
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲0.2)	(▲8.0)	(4.7)	(1.0)	(1.8)	(2.4)	(4.3)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲1.9)	(▲9.6)	(5.6)	(1.1)	(1.4)	(0.8)	(0.3)	(▲0.2)	(▲0.2)	(0.4)	(0.0)
自動車生産台数(千台)	3,773	3,046	3,028	745	800	812	850	317	273	279	279
自動車販売台数(千台)	1,315	949	924	257	216	242	187	66	60	63	68
原油産出量(千バレル/日)*	1,920	1,912	1,926	1,941	1,946	1,925	1,950	1,950	1,950	1,951	1,958
(前年比、%)	(▲7.4)	(▲0.4)	(0.7)	(3.3)	(1.9)	(▲0.4)	(1.6)	(3.3)	(1.3)	(0.8)	(0.3)
原油輸出価格(米ドル/バレル)	55.4	36.1	65.1	71.4	88.8	104.1	87.4	86.3	81.6	78.1	78.2
失業率(%)○	(3.5)	(4.4)	(4.1)	(3.8)	(3.6)	(3.3)	(3.2)	(3.3)	(3.1)	(3.2)	(3.0)
消費者物価上昇率(前年比、%)	(3.6)	(3.4)	(5.7)	(7.0)	(7.3)	(7.8)	(8.5)	(8.7)	(8.7)	(8.4)	(7.8)
輸出(FOB)(億ドル)	4,606	4,172	4,948	1,352	1,321	1,487	1,495	507	523	493	493
(前年比、%)	(2.2)	(▲9.4)	(18.6)	(9.6)	(17.9)	(19.5)	(21.4)	(25.2)	(25.3)	(17.7)	(8.0)
輸入(CIF)(億ドル)	4,552	3,830	5,057	1,375	1,369	1,568	1,619	562	532	513	494
(前年比、%)	(▲2.0)	(▲15.9)	(32.0)	(27.5)	(20.8)	(28.9)	(21.5)	(27.0)	(20.8)	(14.8)	(8.1)
経常収支(億ドル)	▲34	271	▲48	28.2	▲92.6	▲5.0	▲55.1				
資本収支(億ドル)	▲1	▲0	▲0	▲0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.5				
対外準備(億ドル)◎	1,809	1,957	2,024	2,024	2,008	1,985	1,969	1,985	1,969	1,968	1,982
ベースマネー(億ペソ)◎	17,425	21,182	24,408	24,408	25,118	24,552	24,810	24,600	24,810	24,927	25,462
政策金利◎	(7.25)	(4.25)	(5.50)	(5.50)	(6.50)	(7.75)	(9.25)	(8.50)	(9.25)	(9.25)	(10.00)
対米ドル為替相場◎	18.88	19.93	20.47	20.47	19.94	20.18	20.11	20.11	20.11	19.85	19.37
株価指数(ボルサ指数)◎	43,541	44,067	53,272	53,272	56,539	47,524	44,627	44,919	44,627	49,922	51,685

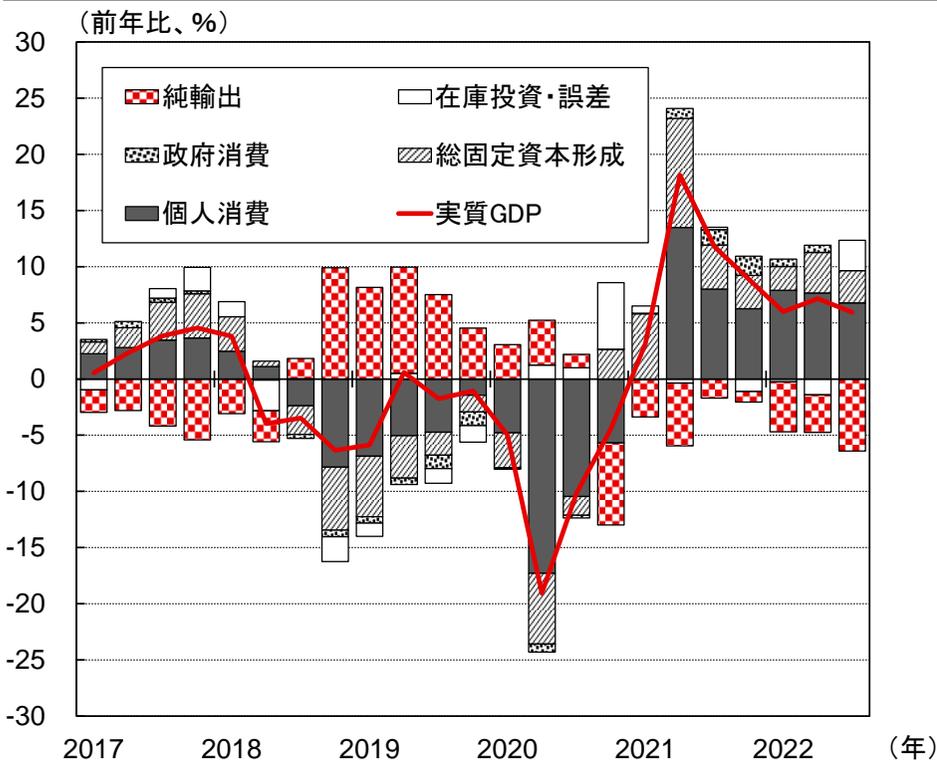
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEX、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (1) 景気概況

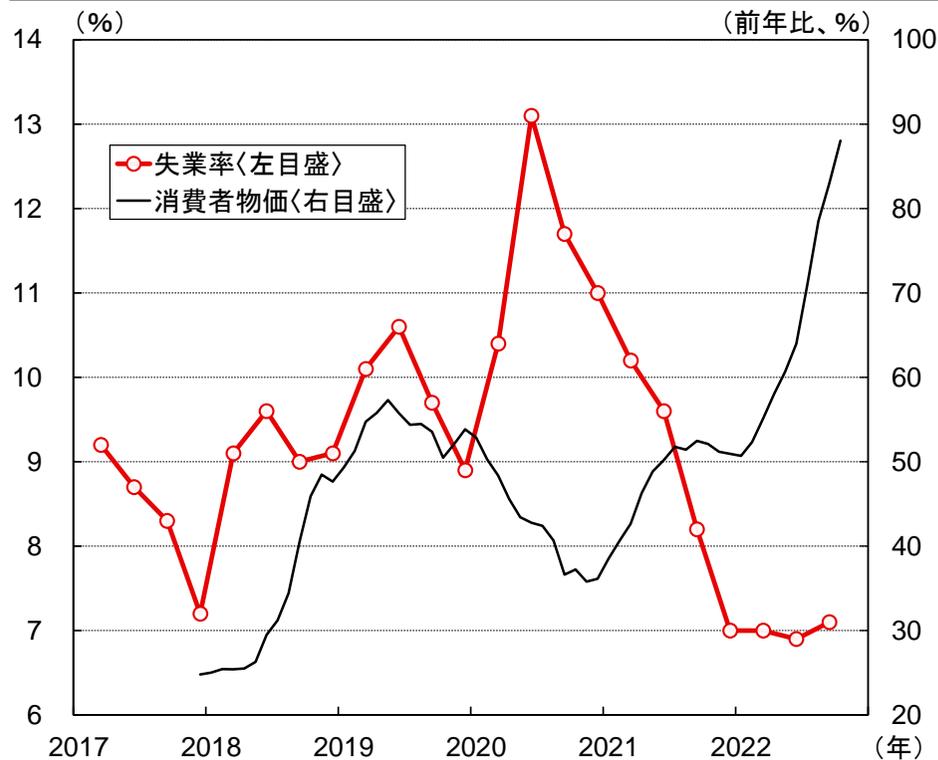
- 昨年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+5.9%と景気回復が継続。需要項目別の寄与度では、純輸出が同▲6.4%ポイントとマイナス寄与を拡大させた一方、個人消費(同+6.8%ポイント)と総固定資本形成(同+2.9%ポイント)がプラスを維持。
- 消費者物価は引き続き伸びが加速傾向。食料品や燃料の価格高騰とアルゼンチンペソの下落を背景に、10月は前年比+88.0%。
- 7-9月期の失業率は7.1%と、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準で推移。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移

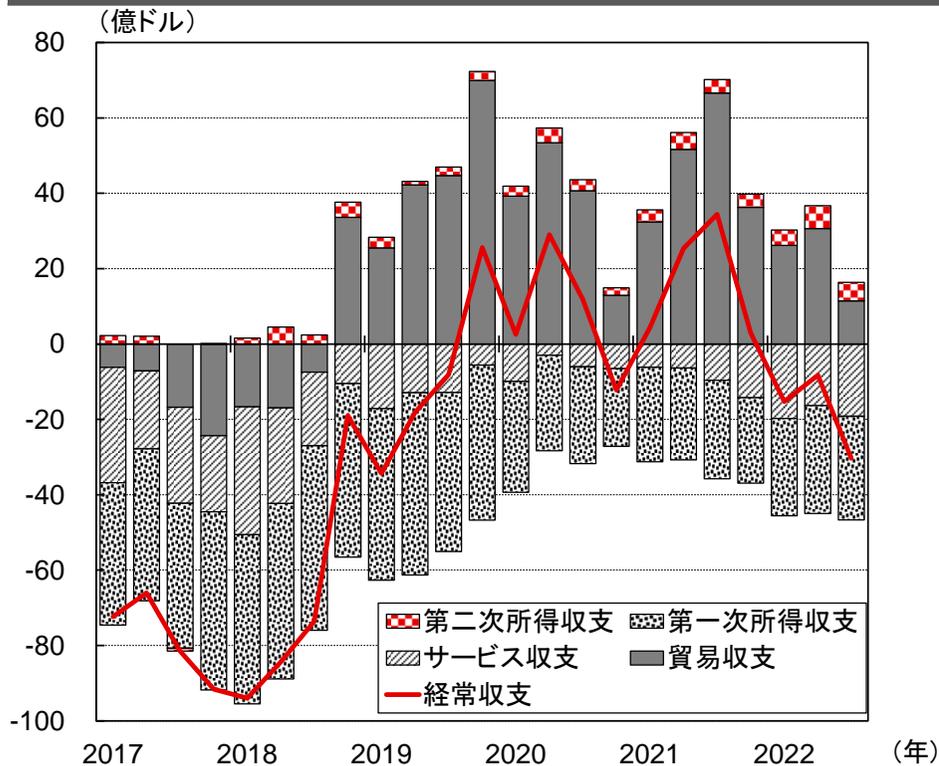


(注)消費者物価指数の現行統計は2016年12月から公表。
(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

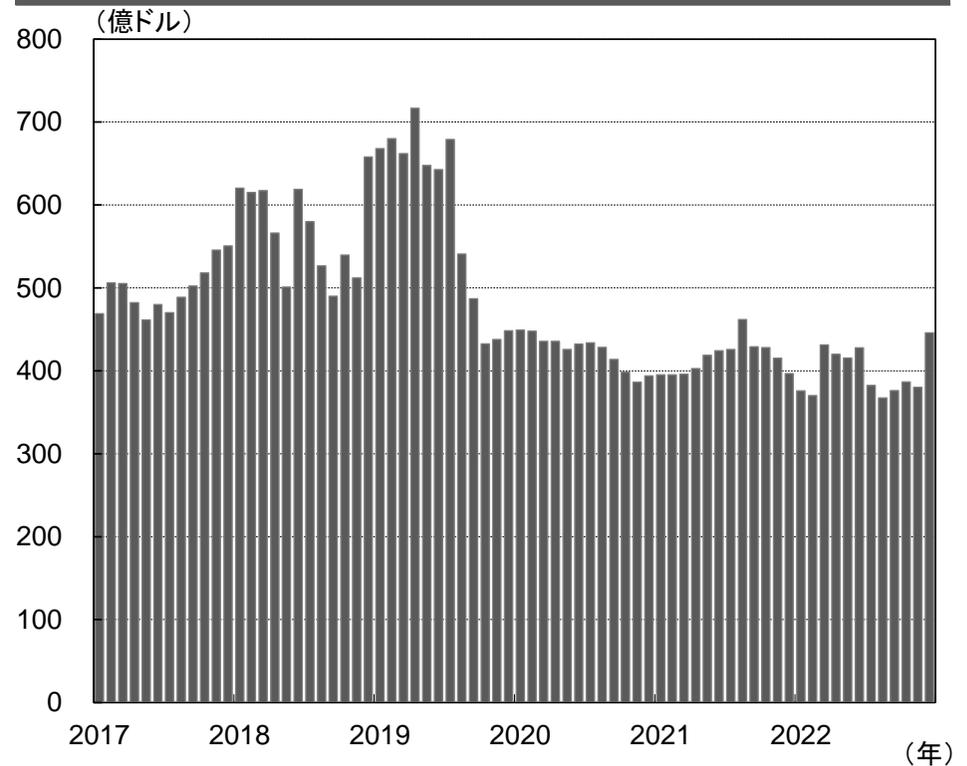
- 昨年7-9月期の経常収支は▲30億ドル(前年同期比▲65億ドル)と前年の黒字から赤字に転じた。第一次所得収支は▲28億ドル(同▲1億ドル)と前年と略同水準を維持したものの、貿易収支は11億ドル(同▲55億ドル)と黒字幅が縮小、サービス収支は▲19億ドル(同▲10億ドル)と赤字幅が拡大。
- 12月末時点の外貨準備高は446億ドルへ増加。IMF理事会による拡大信用供与措置(EFF)による支援について、3月に約100億ドルの融資、10月、12月にそれぞれ約38億ドル、約60億ドルの追加融資を実施済み。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

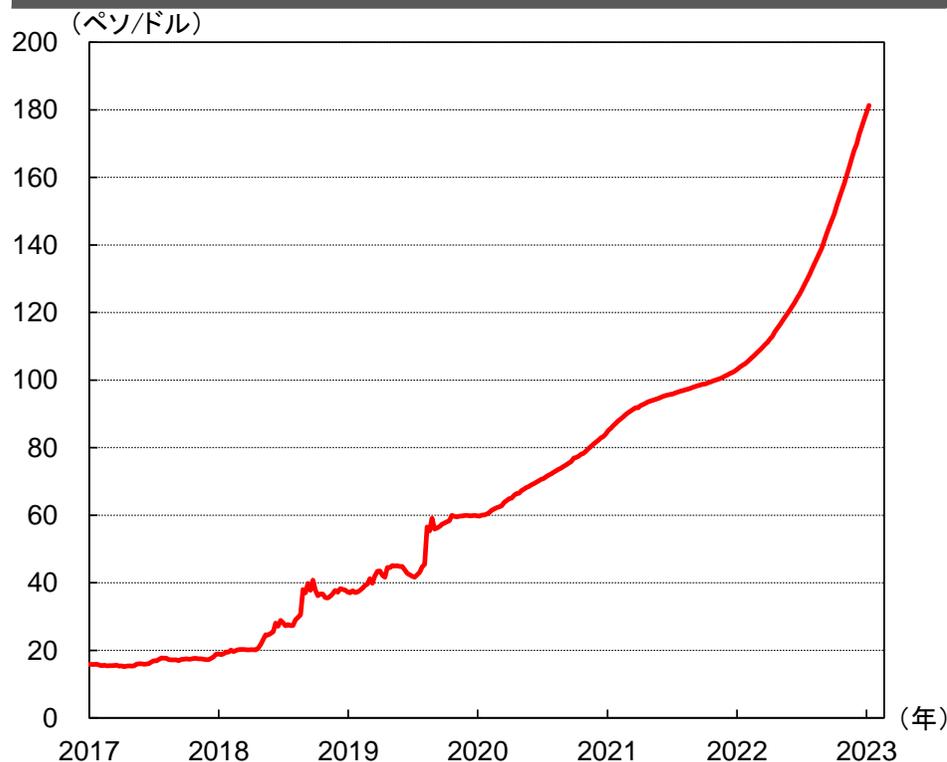


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (3) 金融市場

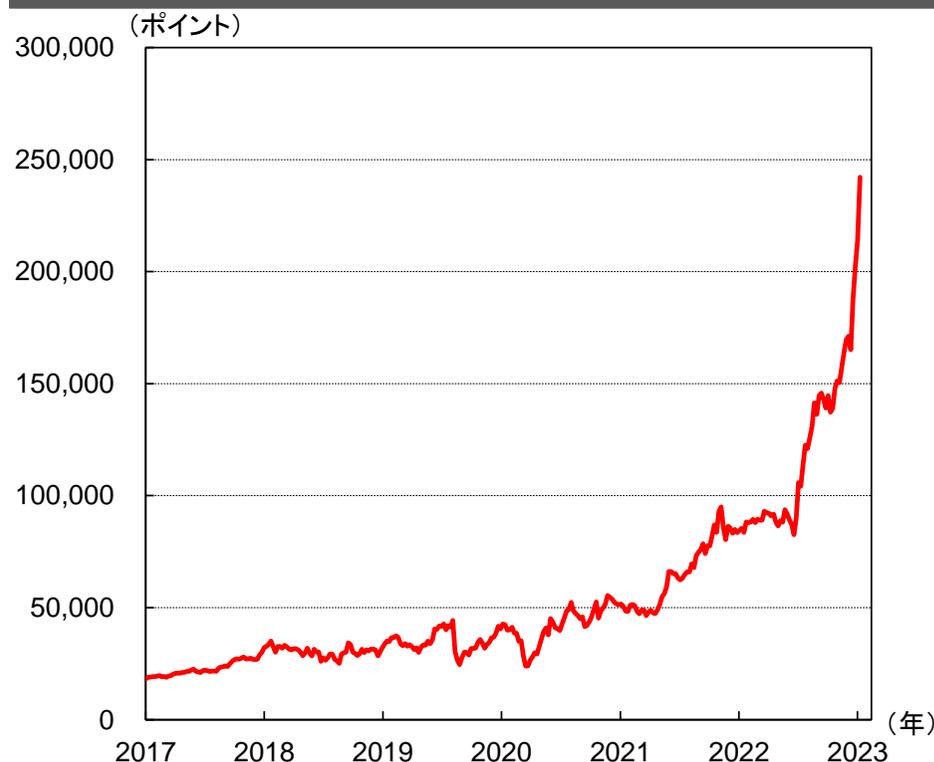
- アルゼンチンペソの対ドル相場は、2020年初の60ペソ前後からほぼ一貫して下落を続けており、足元では180ペソを超える水準まで下落。
- 株価(メルバル指数)は、インフレ加速と為替レート下落により210,000ポイント台へ上昇。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2019	2020	2021	21/10-12	22/1-3	4-6	7-9	22/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲2.0)	(▲9.9)	(10.4)	(8.9)	(6.0)	(7.1)	(5.9)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(▲6.2)	(▲7.2)	(17.2)	(8.3)	(3.9)	(8.1)	(5.9)	(5.6)	(7.9)	(4.3)	(3.5)
建設活動指数(前年比、%)	(▲7.8)	(▲18.7)	(53.4)	(6.7)	(1.3)	(12.0)	(5.8)	(5.2)	(7.3)	(5.1)	(▲0.9)
自動車生産台数(千台)	316	257	435	127	105	139	150	44	54	52	52
自動車販売台数(千台)	372	313	334	86	79	102	93	29	29	35	33
失業率(%)	(9.8)	(11.6)	(8.8)	(7.0)	(7.0)	(6.9)	(7.1)				
消費者信頼感指数	39.3	40.3	38.0	39.2	38.8	37.0	36.3	34.7	37.1	37.2	35.7
消費者物価上昇率(前年比、%)	(54.4)	(40.4)	(50.9)	(51.4)	(52.8)	(61.0)	(77.6)	(71.0)	(78.5)	(83.0)	(88.0)
輸出(FOB)(億ドル)	651	549	779	197	194	250	229	78	75	75	80
(前年比、%)	(5.4)	(▲15.7)	(42.0)	(54.4)	(25.7)	(25.3)	(▲0.2)	(7.6)	(▲6.9)	(▲0.7)	(16.0)
輸入(CIF)(億ドル)	491	424	632	160	168	220	217	83	78	71	61
(前年比、%)	(▲25.0)	(▲13.8)	(49.2)	(40.2)	(37.6)	(48.4)	(33.5)	(45.0)	(36.2)	(21.3)	(15.9)
貿易収支(億ドル)	160	125	147	36	26	31	11	▲5	▲3	4	19
対外準備(億ドル)◎	448	394	397	397	431	428	376	382	367	376	387
ベースマネー(億ペソ)◎	18,954	24,703	36,540	36,540	35,138	39,819	40,990	43,170	41,914	40,990	42,989
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	28,242	37,618	53,574	53,574	58,357	68,953	77,750	72,565	75,089	77,750	82,050
(前年比、%)	(21.5)	(33.2)	(42.4)	(42.4)	(47.1)	(61.2)	(66.5)	(66.4)	(67.2)	(66.5)	(68.8)
経常収支(億ドル)	▲35	31	67	3	▲15	▲8	▲30				
対米ドル為替相場◎	59.87	84.07	102.69	102.69	110.99	125.22	147.32	131.23	138.73	147.32	156.90
株価指数(メルバル指数)◎	41,671	51,226	83,500	83,500	90,960	88,450	139,115	122,528	136,241	139,115	149,938

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
秋山 朝子 asako_akiyama@iima.or.jp